

3. より読みましょう

CD36

読むときのポイント

- この文章は実際にあったことが書かれています。いつ、どこで、だれが、何を、どうしたか、そして今はどうか、を読み取りましょう。
- 筆者の考え方がよく表れている文に_____を引きましょう。

カラオケ

“KARAOKE”は、今では“JUDO”や“TSUNAMI”と並ぶ世界共通語になっている。
1999年、アメリカの雑誌『タイム』が「20世紀にいちばん影響を与えたアジアの人々」を選んだ。その中に、ガンジー、毛沢東、黒澤明などの有名人といっしょに、井上大佑という日本人がいた。カラオケを作った人である。

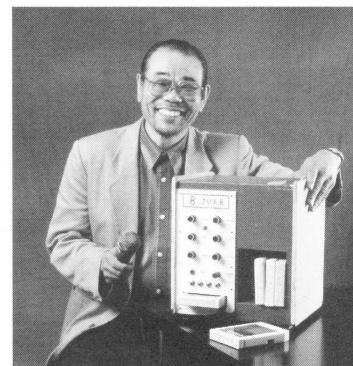
井上さんは神戸で客が歌うのに合わせて演奏をする仕事をしていた。ある日、店の客の一人が、社員旅行に行くので、演奏をテープに録音してほしいと言ってきた。音の高さや速さをその人に合わせて録音してあげたら、とても喜んでくれた。それをヒントに井上さんは演奏だけが入っている「8 ジューク」という機械を作り、1971年にレストランや喫茶店に貸し出す会社を始めた。カラオケの誕生である。

ところが、井上さんは特許を取っておかなかった。また、ほかの会社との技術競争にも負けてしまったために、会社は倒産した。もし特許を取っていれば、大金持ちになっていたかもしれない。

カラオケほど年齢、性別、地域に関係なく楽しめる娯楽はない。世界中の町で、子どもからお年寄りまで、家族や仲間と、カラオケに合わせて楽しそうに歌っている。ダイエットのためにカラオケをする人もいる。アメリカでは心の病気を治すのにも使われている。今、カラオケは単なる機械ではなく、日本が世界に誇る文化なのである。

9

124



写真提供：(株)エス・アイ・ピー